

平成 29 年 1 月

お得意様各位

株式会社 ウチダ和漢薬

## ヒゲナミンに関する注意喚起

拝啓

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のお引き立てを賜わり厚く御礼申し上げます。

さてこの度、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構による事務連絡において「2017年禁止表国際基準の Higenamine (ヒゲナミン) に関する注意喚起」が発出されました。従来からβ2作用薬は全て禁止されていましたが、2017年禁止表国際基準にβ2作用薬の例として新たに Higenamine (ヒゲナミン) が明記されました。

Higenamine (ヒゲナミン) 及び類似成分は下記の通り、複数の漢方薬・生薬に含まれているため、アスリート及び関係者にご注意頂きます様、お知らせ申し上げます。

敬 具

### 記

#### <Higenamine (ヒゲナミン) について>

Higenamine は、以下の生薬に含まれるとされています。

烏頭・附子類、丁子、細辛、南天実、呉茱萸、イボツヅラフジ

また、Higenamine と同構造の Demethylcoclaurine (デメチルコクラウリン) 及び類似構造の coclaurine (コクラウリン) は下記の生薬に含有されております。

蓮肉 (胚芽部分)、辛夷

なお、漢方薬以外にも、胃腸薬「SM 配合散」(丁子含有)、南天を含むのど飴など、様々な胃腸薬、サプリメント、食品にも含まれております。

以 上